



真柱様からの宿題を ふりかえり記念祭に

4月大教会教会長会議

立教185年4月14日

大教会長 片山 幹太

本島通信

発行所 〒763-0223
香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R220418-0422-15
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
<https://www.honjima.com>
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おつとめ時間
【5月1日～5月31日】
朝づとめ 午前6時15分
夕づとめ 午後7時00分

皆様は宿題をちゃんとしていたでしょうか。

子供の頃、すぐに宿題をする人、ギリギリまで出来ない人、学校に着いてからする人など、いろいろなパターンがあると思います。私の場合はアメリカンスクールでしたので、宿題がありませんでした。

来月、いよいよ創立120周年記念祭を迎えさせていただきますが、10年前の110周年記念祭のとき、真柱様のお言葉にたくさんさんの宿題を頂いたように思います。その宿題はちゃんと出来ているでしょうか。あと1ヶ月ありますので、0点にはならないように、少しでも宿題を成し遂げられるよう努めさせていただきます。

そこで110周年のときのお言葉を振り返らせて頂きたいと思います。「教会を最初願ひ出た人々の心と変わらないうところ、変わらない教会の姿が御守護いただける」

何度も耳にされているお言葉だと思ひます。

さらに、次のお言葉も頂いております。

「本島の道は、一日にして変わったのではなく、百十年の間、皆さん方の先祖先人の、教祖のひながたを慕う足跡があつたらばこそ、今日があるのであります。」

そして、

「年月が経ち、人の代が代わり、昔の記憶がだんだん失われていくと、人の心の上に変化が起こるのは、仕方ないところもあると思ひます。」

しかし、だからと言って、昔の人はそう考えたかも知れないが、今はもう時代も違うし、そうは考えられないというのは、信仰的な考え方とは言えないと思ひます。

教会設立の時に、親神様と交わした約束は、今の自分たちの約束として、末代かけて破ることのないように、心して通らせて頂くことが、末代としてお許し下さった思召にお応えすることになると思ひます。

この10年の間で、社会も大教会も

ずいぶん様相が変わってきました。

しかし、どんな中も教祖ひながたの道をたずね、常日頃からご存命の教祖のお側にいることを感じさせて頂く通り方をさせて頂きましょう。

もう一つ、本島が目指す信仰姿勢は『本島音頭』の歌詞に記されていると思うのです。

歌は5番まであるのですが、いずれも最後は「陽気で行こうよ」で終わっています。

先人の時代、明治、大正、昭和と今とは違う苦勞があつたと思ひます。食べる苦勞であつたり、戦争の不安や恐怖の苦勞もあつたことでしょう。どんな苦勞の中も、とにかく「陽気で行こう」という信仰姿勢を常に持つていらつしやつたように思ひます。

真柱様からの宿題に大きな点数はまだ取れないかもしれませんが、教祖をもっと身近に慕わせて頂けるように、どんな中も陽気で通らせて頂くように、心を定めて120周年記念祭を迎えさせて頂きたいと思ひます。テーマは「一手一つ」です。一人でも欠けると一手一つになりません。どうか皆で心を一つに揃えて、喜びの中の記念祭を迎えさせて頂きましょう。ありがとうございました。

次代を担う若者は積極的に 記念祭ひのきしんへ

大教会役員 岡崎 八十則
おかざき やそのり

只今は4月の月次祭を、大教会長様を芯におつとめ奉仕者、ご参拝の皆様と共に陽気に勇んで勤められましたことを心よりお慶び申し上げます。

先ほど、信者会館の廊下で娘とすれ違いました。「お父さん、だいじょうぶ?」と言います。「だいじょうぶ」と答えましたら、「いや、だって顔色めちやくちや悪いで」と。



自分では自覚ありませんが、娘が心配する中、しつかり勤めさせて頂きたいと思しますのでよろしくお願いたします。

さて、4月に入りまして、少しずつ暖かくなり、過ごしやすく活動的になってきました。そして桜前線が駆け足で北上しております。

皆さん想像してみてください。ポカポカと暖かい陽射しの中、満開の桜を見ている気持ち。いかがですか。暖かい気持ち、ほのぼのと優しく丸い気持ちではないでしょうか。

私は普段花には無関心で、まったく情緒的ではありませんが、満開の桜には心を動かされている自分がい

ます。
古老の先生によると、大教会では昔4月の祭典後、皆で弁当を持って

お墓地へ花見に行っていたそうです。なんと和やかな行事ではないでしょうか。

4月18日はご存命の教祖の224回目の御誕生日であります。おちばでは教祖誕生祭が勤められ、続く「喜びのハーモニー」では、喜びいっぱい

の歌を歌い、お祝いを申し上げます。おふでさきに
しらするもなにしらするとをもう
かな もとなるをやをたしかしらす
する (九号26)

いままでもしらすぬ事をばをしへるハ
もとなるをやふたしかしらする
(九号30)

元なるのをやをたしかにしりたな
ら そんな事でもみなひきうける
(九号31)

人間をお生み降ろしくださいました母親のいんねんある教祖は、神のやしろとして世界たすけの最後の教えをお啓き下された元なる親であります。陽気ぐらしの教えは教祖お一人から始まり、現在ではその教えが世界中に広がっています。

稿本天理教教祖伝逸話篇より一話を拝読します。私たちが学ぶべき心遣いをお教え下さっています。

一四四 天に届く理

教祖は、明治十七年三月二十四日(陰暦二月二十七日)から四月五日(陰暦三月十日)まで奈良監獄署へ御苦勞下された。鴻田忠三郎も十日間入牢拘禁された。その間、忠三郎は、獄吏から便所掃除を命ぜられた。忠三郎が掃除を終えて、教祖の御前にもどると、教祖は、

「鴻田はん、こんな所へ連れて来て、便所のようなむさい所の掃除をさされて、あんたは、どう思うたかえ。」

と、お尋ね下されたので、「何をさせて頂いても、神様の御用向きを勤めさせて頂くと思えば、実に結構でございます。」と申し上げると、教祖の仰せ下さるには、

「そうそう、どんな辛い事や嫌な事でも、結構と思うてすれば、天に届く理、神様受け取り下さる理は、結構に変えて下さる。なれども、えらい仕事、しんどい仕事を何んぼしても、ああ辛いなあ、ああ嫌やなあ、と、不足々々では、天に届く理は不足になるのやで。」
と、お諭し下された。

ソメイヨシノは1本の接ぎ木から始まり、現在は日本国内はもとより世界中に植樹され、その数は数千万本とも言われています。そして桜の花は見る人の心をほっこりと明るくしたり、癒やしてくれたりします。

教祖お一人からはじめられた最後の教えも、人々の心をほっこり明るく勇んだ気持ちにして下さいます。

桜の花は年に一度ですが、私たち、よくよくは、常に教祖ひながたの道をたどる努力をすることで、いつでもどこでも周りの方々を喜ばせ勇ませることが出来るのではないのでしょうか。

さて、5月21日に迎える大教会創立120周年記念祭について、私を感じることを少しお話させて頂きます。創立記念祭は十年ひと区切りに勤められてきました。

私が経験した記念祭は90周年からです。神殿前に大テントを立て、大舞台やたくさんの方々があって大変賑やかでした。

100周年は現会長様の就任奉告祭と信者会館竣工が重なる大きな節目の記念祭でありました。

110周年は当日まれに見る大雨で、

係員も帰参された皆様もいろいろ苦心したことを記憶しています。

そして今回の120周年記念祭には大きな特徴が2つあると思います。一つ目はコロナ禍の中の記念祭であること。二つ目は道の将来を担う若い方々に記念祭ひのきしんに参加して頂きたいと特別にお願いしていることです。

コロナウイルス感染拡大が始まり2年以上が経ちます。現在では予防対策の生活が定着してきたように思っています。

皆様にはコロナ禍の中、記念祭ができるのか、いろいろご心配をおかけしていると思います。いよいよ来月に迫り、記念祭の実施に向けて内容もかたまり、準備ひのきしんは更に進められることになっています。ご帰参の皆様にはくれぐれも日頃から体調管理にご留意の上、無理をせずご帰参くださるようお願いいたします。

道の将来を担う若い世代の方々に記念祭のひのきしんをお願いする大教会の思いは、記念祭のひのきしんを通じて、若い人たちに信仰をより身近に、また我がこととして感じて頂き、これから担う若い世代同士が

横のつながりを築き、やがては所属する教会で活躍するようばくへ育ってほしいことにあります。

今までの記念祭でも、若い世代の方々にひのきしんをお願いしてきましたが、今回のように明確に思いを伝えて頂いたのは初めてだと思います。大変意義深いことであると思います。

コロナ禍によりこの2年程は大勢人が集まっていた行事はできませんでしたが、そこでインターネットによるリモート配信機能により、一つの場所に集まらなくても実施できる行事や会活動が多くなっています。

私が心配する点は、リモートの便利さに慣れてしまい、コロナ禍が収束した後もインターネットを利用した行事参加が当たり前になつてしまわないか、ということです。

私は決してインターネット利用が良くないと言っているわけではありません。利用することによって新たな行事や活動が出来るようになりまし。将来的には今までのない行事や新しい会活動の取り組みを期待している一人であります。

しかしながら、実際に人が集まって顔を合わせての会活動や行事は大

切で、素晴らしい点がたくさんあります。

同じ場所と同じ時間を過ごしながら、参加したお互いが話をしたり聞いたり、また行動を共にすることによって、繋がりがや絆を深め、さらにはそれぞれの信仰を切磋琢磨することが出来ます。

私自身を振り返ってみても、青年時代は大勢の人達と繋がりを深めることで、自分自身の信仰と向き合うことができたのではないかと思います。そして現在、お道を歩んで行く上での原動力にもなっています。

青年会本島分会では、昨年5月より「ウィーケン隊」という活動を行っています。ウィークエンドひのきしん隊を省略しての名称だそうです。

青年会では、大教会青年の人数が少ないことや、記念祭に向けて準備ひのきしん等を進める上で自分たちで何かできることがないかと相談し、ウィーケン隊を始めたという思いがあります。誰かに言われたりお願いされたいわけでもなく、本島青年会が自ら話し合い、実行していることは、まさにあらきとうりようを自負する天理教青年会らしい姿だと思います。

ウィーケン隊が始まった頃、私は毎週末大教会に集まってひのきしんをしても、思っているほどの活動にはならないのではと心配していました。

しかし活動の幅は、大教会祭典準備や詰所ひのきしんなどに拡がり、青年会員以外の参加者も増えており、少しずつではありますがひのきしんの和が広がっていると思います。

最近では、ウィーケン隊にこんなひのきしんをお願いしよう、今度はあのひのきしんをやってもらおう等、毎週末が楽しみになってきました。

小さな伏せ込みから始まったウィーケン隊ではありますが、回を重ね、続けることによってだんだんと大きな伏せ込みになっているように思います。

御本部においても、次世代の人材育成について、様々な活動が行われてきました。私が特に印象深く心に残っているのは『後継者講習会』であります。

24年前、後継者講習会が開催されたとき、私は青年会本部の御用をしておりましたので、スタッフの一員として勤めさせて頂きました。

その時に感じたことは、まず講習会を始めるにあたり、真柱様を芯に

御本部の先生方を始め、婦人会、青年会、少年会、学生担当委員会の委員の先生方など、それぞれ持ち場立場で勤めている方々が一手一つに企画、準備、運営を進められました。

道の後継者に対する親の思いを受け、スタッフ全員が我がこととして勤められる姿を見て、大変勉強になりました。

またいろんな立場の方々との連携や協力がなければ、道の後継者の育成はうまく進んで行かないと実感しました。

今回の記念祭においては、次代を担う方々に積極的にひのきしんに参加して頂き、お道を歩む上での宝物をお持ち帰り頂きたいと思うのであります。

教会長様を始め、教会関係者の皆様にはぜひこれから担う方々の背中を押して頂き、記念祭へのひのきしんに送り出して頂きたいと思います。

この度の記念祭には真柱様のお入り込みは頂けません、本島大教会に繋がる私たちに對して、真柱様よりメッセージを頂けると伺っております。大変嬉しく有難い限りです。私たちはコロナ禍の中にあっても

本島団鼓笛隊 春季特別合同練習会

本島団鼓笛隊(鎌田典夫部長)では、3月26日から28日にかけて、本島詰所において「春季特別合同練習会」を実施。総勢70名が参加しました。(ドリーム隊10名、本隊29名、高校生5名、リーダー26名)

新型コロナウイルス感染対策により、今回は合宿形式ではなく、練習と食事は鼓笛隊で、入浴と宿泊は保護者のもとで行うことになりました。

開講式において挨拶に立った大教会長は「今回はまだ合宿練習という形はとれませんでした、が、久々に合同練習を開催できたことに感謝しています。大教会創立120周年記念祭には、一手一つの演奏演

技が行えるよう心を揃えて各パートの技術向上に励んで下さい」と述べられました。

5月21日の大教会創立120周年での演奏披露を目指して、おもに規律訓練、各パート練習を行い、「エレメンタリーマーチ」「R.Y.G.スコットランド」「パレード・ザ・ホンジマ」の5曲を練習しました。期間中、おやさとかた東棟前の枝垂れ桜が満開で今年から夜間ライトアップも行われていたことから、27日は本部夕づとめ参拝後、夜桜鑑賞をしました。

また記念祭カンタリーパークで行われる「カンタリーロード」「一合まい」のダンス練習も行いました。



四月月次祭 祭典役割

献饗長 片山勲
伝 供 平井真治郎・篠原丕王・
永山晴明・吉田晴雄・永島宗行・
大上道徳・原口実・奥村龍夫・
雲庵春彦・片山直明・吉田知彦・
高島榮造・長瀬充憲・岩橋守行・
長尾海和・寺本邦一・茶屋原良
昭・位下道治・鎌田典夫・山下
英久・村田輝夫・上山康雄・
時久英次・川村吉夫・溝口晋
太郎・香川勝巳
雅楽奉仕者 池田恒治・香川
高範・上山薫・伊東賢太郎・
内橋和博・伊東慎平・鎌田康典・
鎌田仁史・吉田貴慶・白垣俊生・
佐々木徳太郎(順不同)

祭主 指図方	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	井上 哲			
地 方	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
片山 勲	平井真治郎	高垣光治	高垣光治	高垣光治
老木 邦光	篠原丕王	高島榮造	高島榮造	高島榮造
西山 道教	向所隆文	上山康雄	上山康雄	上山康雄
大教会長	岡崎八十則	原口 実	原口 実	原口 実
高島清弘	永山晴明	雲庵春彦	雲庵春彦	雲庵春彦
岩橋慶三	肥後 章	村田輝夫	村田輝夫	村田輝夫
会長夫人	池田さわみ	高垣洋子	高垣洋子	高垣洋子
片山やすゑ	雲庵まち子	菅岡和美	菅岡和美	菅岡和美
長尾澄子	永山みすゞ	長尾善絵	長尾善絵	長尾善絵
岩橋竜造	大上道徳	吉田知彦	吉田知彦	吉田知彦
雲庵道延	片山直明	山下英久	山下英久	山下英久
牧野道昭	奥村龍夫	長尾海和	長尾海和	長尾海和
窪田靖明	寺本邦一	位下道治	位下道治	位下道治
永島教生	長瀬充憲	長門淳一	長門淳一	長門淳一
片山 榮	鎌田典夫	岩橋守行	岩橋守行	岩橋守行
向所暉美子	岩橋元実	原口和子	原口和子	原口和子
井上みつの	岡崎むつゑ	梅木澄代	梅木澄代	梅木澄代
上田敬子	谷口十糸子	谷口十糸子	谷口十糸子	谷口十糸子

四月月次祭祭文

立教百八十五年四月十四日

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理
王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎
んでお願い申し上げます

親神様には一れつ子供の陽気ぐらしを樂し
みにこの世と人間をお創り下され果てしなき
親心と自由の御守護のまにまに今日の結構な
道へとお連れ通りお育て頂いております御厚
恩の程は、誠に有難く勿体ない限りでござい
ます

私共は教祖のよふばくとしてとどかぬなが
らも御恩報じを念じてたすけ一条の上に勤め
させて頂いておりますがその中にも今日の佳
き日は寛政十年四月十八日教祖がお生まれ遊
ばされた芽出たいゆかりの月に当りますので
只今から慶びの心を一つに揃えて奉仕者一同
座りづとめてをどりを陽気に勤めて四月の月
次祭を執り行わせて頂きます

御前には今日を樂しみに帰り集いました本
島の道につながる教会長よふばく信者一同は
喜び心も一入におうたを唱和して日頃の御厚
恩にお礼申し上げ併せて一層の成人をお誓い
する真実の状をも御覧下さいまして親神様に
もお勇み下さいますようお願い申し上げます
この月十八日はおぢばでは教祖誕生祭に続
いて十九日には第一〇四回目の「天理教婦人
会総会」が三年振りに開催されます

この旬に婦人会長様の深い親心を学び身に
つけ内統領先生の思いを心にきざみ陽気ぐら
し世界実現に向けて歩ませて頂く所存でござ
います

又四月二十九日の「全教一斉ひのきしん
デー」には「かしの・かりもの」の御恵みに
感謝して明るく勇んでひのきしんを実行させ
て頂きたいと存じます

尚来る五月二十一日に迎えます「本島大教
会創立百二十周年記念祭」に向かって成人目
標の実践に最後まで心放たず真実の限りを尽
くさせて頂く決意でございます

ことに迎祭準備ひのきしんには次代を担う
人材や若い世代の人達と共に取り組ませて頂
きたいと存じます

何卒親神様にはこの心をお受け取り下さい
まして一段と厳しい世界の事情の一日も早い
治まりの上に「一列兄弟」の思召しに近づかせ
て頂きますようお願いの程を、一同と共に慎
んでお願い申し上げます

(原文のまま)

入社祭

(立教185年4月14日)

▼本九△木下政一△上原厚子△服部
徳雄△服部ナミ子

【計4名】

4月14日(木)

【香川県丸亀市】

天 候 曇一時雨
最低気温 15.4℃
最高気温 18.6℃
平均気圧 1012.6 hPa
平均湿度 90 %
平均風速 1.7 m/s
日照時間 0.0 時間
降水量 6.5 mm

本島大教会創立 120 周年記念祭 行事要項

記念祭タイムテーブル

●立教 185 年 5 月 21 日

- 6:15 朝づとめ
- 7:00 受付開始
- 8:00 開扉・献饌
- 10:40 神殿集合
- 11:00 記念祭執行
- 13:30 頃 記念撮影、お弁当配布
カンタリーパーク(昼食)
- 15:00 記念祭終了

●帰参について

- ◇今回は、帰参の人数を制限せず、毎月の帰参と同様に各教会の判断でご帰参ください。コロナ禍の中、不安を抱かれています方は、どうぞ参拝をご遠慮ください。

- ◇ライブ中継を行います。

●開扉・献饌

- ◇朝づとめ後、祭典準備に取りかかり、引き続いて開扉・献饌を行います。

●朝食について

- ◇日帰り帰参者の朝食はありません。
- ◇キッチンカーは午前 8 時頃より開店いたしますのでご利用ください。

●駐車場について

- ◇児島観光港：アーバンホール児島、JR 高架下駐車場
- ◇丸亀港：虹観光横、高架道路下

記念祭ひのきしん参加要項

●期間：令和 4 年 4 月 29 日～5 月 31 日

- ◇期間中であれば、日帰りでも泊まりがけでも結構です。ぜひご参加下さい。

●対象：どなたでもご参加いただけます

- 内容：大教会創立 120 周年記念祭に向けての準備ひのきしん、および片付けひのきしん

- 持ち物：ひのきしんできる服装(作業着や汚れてもいい服、靴、軍手、エプロンなど)ハッピー、マスク、着替え、洗面具

- 申込方法：大教会へ直接ご連絡ください(0877-27-3321)

- ◇自教会へもご一報ください。

- ◇5 月 17 日以前にひのきしんに来られる方は、帰参報告用紙の名簿に(ひ)とご記入ください

●担当：横山富明、池田ゆりえ

- ひのきしん参加 1 週間前より体調管理をお願いいたします

おつとめ係より(担当:岩橋竜造)

教会長夫妻の皆様へ

- ◇記念祭はおつとめ着着用の上、10 時 40 分までに神殿結界内にご集ってください。お役に当たっている方は前方にお座りください。1 畳につき 2 名ずつお座り頂きます。10 時 40 分よりお役の確認、全員で発声練習を行います。

- ◇更衣室は男性が会議所、女性は信者会館 111 号室から 113 号室(続き部屋)です。祭典時間中、貴重品のお預かりは会計室でできます。祭典終了後、殿内で記念撮影を行います。その後、徹饌を行いますので男性の方はお手伝いをお願いします。

- ◇マスクを必ず着用してください。おつとめで上段に上がる時は外してください。

ご参拝の皆様へ

- ◇記念祭は午前 11 時からです。参拝場では 1 畳につき 2 名でお座りください。椅子席もあります。神殿に入りきれない方は講堂またはテント会場でご参拝いただけます。マスクを必ず着用してください。手指消毒にご協力をお願いします。

船舶・宿泊係より(担当:平井真治郎)

- ◇帰参報告を必ずご提出ください。

- QR コードから帰参報告フォームで報告できます(新規・変更とも)



- ◇定期便は各自きっぷをお買い求めください。

- ◇5 月 21 日のチャーター便のみ、チケット無しで乗船できます(大教会に船舶御供の箱を用意しています)

- ◇チャーター便：5 月 21 のみ
往路：児島港 8:30～9:00 発→本島港 9:00～9:30 着
復路：本島港 15:20～15:50 発→児島港 15:50～16:20 着

- ◇午前 7 時より受付、記念祭終了後、お弁当を配布します(お弁当交換券はありません。一人 1 つです)

- ◇記念祭には原則日帰りをお願いします。(係員についてはこの限りではありません)。身上のため宿泊を希望される方はご相談ください。

行事係より(担当:岡崎八十則)

カンタリーパークについて(直会改め)

- ◇講堂内ならびに神殿南側・北側テナントを「カンタリーパーク」とし、ご帰参の皆様のご休憩・参拝・お食事の場所としてご利用頂けます。

- ◇講堂舞台では、演芸催し物があります。

キッチンカーについて

- ◇讃岐を代表する大人気キッチンカー 4 台が本島に上陸。記念祭でぜひご賞味ください

●営業時間：当日午前 8 時～午後 4 時

- 事前にチケットをお配りします。QR コードより注文フォームでご注文承ります。チケットは請求書と合わせて郵送または大教会でお渡しします。5 月 21 日



- 当日、受付でお支払いください。

- 当日は現金でも直接購入できます。

キッチンカーメニュー

【N's DINING】

- A：チーズハットグ ￥450
- B：ポテトレーラ ￥500
- C：ソーダドリンク M ￥300
- D：ソーダドリンク L ￥400

【中津しょう油から揚げ専門店 げんきや】

- E：からあげ ￥500
- F：ダージーバイ(大鶏排) ￥500

【コロ家】

- G：讃岐肉まんコロッケ ￥300
- H：コロッケ屋さんが揚げたカレーパン ￥350
- I：ソフトクリーム ￥350

【西内花月堂】

- J：カツサンド ￥500
- K：クロワッサンたい焼き ￥300
- L：揚げたこ焼き ￥300
- M：白桃スカッシュ ￥400
- N：フルーツアイスバー ￥400

スマイルフォト募集

- カンタリーパークのバンド演奏にて、スマイルフォトリレーを上映します。各教会につながる家族や信者さん達の集合写真をぜひお送り下さい。

LINE：080-6318-0427 (上山)

※ 教会名と都道府県もお知らせ下さい

大教会からの お知らせ

4月14日教会長会議連絡事項

創立120周年記念祭

(4月発表の追加事項)

- 駐車場について(児島港・丸亀港)**
 - ◇係員の指示に従い、決められた場所に駐車願います。
 - ◇大教会帰参者車輛の目印として、ダッシュボードに色折り紙を置いて下さい(色は何色でもかまいません)
- 児島港臨時駐車場**
 - ◇5月17日から20日までの車輛は、児島観光港の駐車場をご利用ください。
 - ◇5月21日日帰りの車輛については、鉄道高架下にある「アーバンホール児島」の臨時駐車場をご利用ください。
- 丸亀港臨時駐車場**
 - ◇5月20日から23日まで、にじ観光海上タクシー駐車場(41台)をご利用ください。24日朝施錠されます。
 - ◇期間前後に駐車する場合は、市営有料駐車場をご利用ください。
- 天理からの日帰りバス運行**
 - ◇5月21日未明に天理出発、夜天理帰着(5月20日中に詰所へご到着ください。詰所宿泊予約も合わせてお願いします)
 - ◇費用：ひとり片道3千円、往復6千円
 - ◇お申し込み：本島詰所事務所まで
- キッチンカー前売りチケットについて**
 - ◇申込み締切：5月15日まで
- 会計より**
 - ◇5月は大教会総会費の取扱窓口をお休みします

住所表記変更

雄福峰分教会(古井信会長)の住所表記が下記の通り変更になりましたのでお知らせします。
(新)福岡県糟屋郡粕屋町
内橋東1丁目23番20号
【立教184年11月25日本部受理】

立教185年 本部昇殿参拝

【総務部】

- 5月26日本部月次祭昇殿参拝ご希望の方は、詰所事務所へお申し出ください。
- 服装**：ハッピー、ネクタイ。女性はこれに準ずる
 - ※マスクを必ずご着用ください
 - 担当**：平井真治郎役員

青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

- おやさとしん青年会ひのきしん隊第903回隊
- 期間**：6月2日～20日頃(日程は未定)
 - 時間**：午前8時集合、午後5時頃解散
 - 集合場所**：本島詰所
 - 参加対象**：青年会員
 - 参加御供**：1日500円、最大5,000円
 - 持参品**：手袋、ベルト、帽子、タオル、アンダーシャツなど

学生生徒修養会 高校の部

【天理教学生担当委員会】

- 期間**：令和4年8月8日～8月12日
- 受講対象**：高等学校に在学し、全期間受講できる者(親里管内については天理高校第I部の自宅通学生に限り受講可)
- 募集人員**：700名
- 内容**：レクチャー、ひのきしん、おてふり、レクリエーションなど
- 集合**：8月8日正午(昼食を済ませてからご集合ください)詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合してください。
- 解散**：8月12日午前10時30分(予定)
- 受講御供**：10,000円(詰所に納めて下さい)
- 申込方法**：次の書類を調べ、大教会長の署名・捺印を頂いた後、学生担当委員会事務局へ申し込んでください。
 - ①受講願書1通、②返信用封筒(保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、84円切手を貼付)
- 申込期間**：5月25日～7月25日(事務処理の関係上、願書はなるべく7月18日までに提出して下さい)
- お問合せ先**：学生担当委員会事務局(0743-63-2489)

大教会記念祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象**：5月21日大教会創立120周年記念祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法**：
 - メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切**：5月20日午後5時まで
- ご注意**：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。
- 記念祭は大勢の帰参者が見込まれ、インターネット環境の逼迫が予想されます。状況によってはライブ中継できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。**
- 記念祭ライブ中継をお申し込みの方には、合わせて5月22日の月次祭ライブ中継もご覧頂けます。**



GW ウィーケン隊

【青年会本島分会】

- 日時**：4月30日～5月5日
- 会場**：本島大教会
- 内容**：記念祭準備、雅楽練習

みちのだいおはなし会

【婦人会本部】

- 日時**：5月26日午後1時～2時
- 会場**：東講堂
- 講師**：平澤栄美先生(磐城平支部長) 西村康世先生(一筋支部会員)

5月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間**：5月21日～22日
- 派遣**：赤峰

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間**：5月24日20:00～26日13:00
- 派遣教会**：樺太①、本承德①、本中国①

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト